

月刊

クローズアップ

しもすわ

2010
8
No. 85

2010.7.23発行

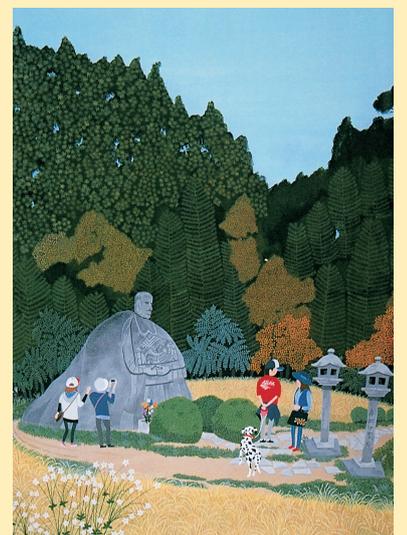
中山道と甲州街道が出会う 大社といで湯の宿場まち



万治の石仏と伝説

伝説によると諏訪大社下社（春宮）に石の大鳥居を造るとき、この石を材料にしようとノミを入れたところ傷口から血が流れ出したので、石工達は恐れをなし仕事をやめた（ノミの跡は現在でも残っている）その夜石工の夢枕に上原山（茅野市）に良い石材があると告げられ果たしてそこに良材を見つけることができ鳥居は完成したというのである。石工達は、この石に阿弥陀如来をまつて記念とした。尚、この地籍はこの石仏にちなんで古くから下諏訪町字石仏となっている。

万治3年（1660年）11月1日



原田泰治さんが描く『万治の石仏』